



### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

□ 3R（リユース，リデュース，リサイクル）【全学年】

○家庭から空き缶，ペットボトルの蓋（エコキャップ）を持ち寄り，福祉委員会の児童が回収作業を行った。

- ・各家庭から持ち寄ることにより，リサイクルの必要性や重要性について考えさせた。そして，再資源化が急務であることや，ゴミの分別の仕方について理解させながら活動を行った。
- ・児童の福祉委員会を中心として，ボランティア活動を率先して行うことにより，全校児童に対する社会奉仕への意識を高めさせることができた。

□ 「われら日吉台・杜乃橋防災探検隊」【防災 4年】

〈6月 課題を設定する〉

- ・自主防災会発行の防災マップを読み取り，子供の目で防災マップを作ることに挑戦することを決定した。

〈7月 第1回防災まち歩きをする〉

- ・5地区を，17班に分かれてまち歩きをした。防火水槽，消火栓，貯水槽のマンホール，病院がどこにあるか等，災害時に必要なものを実際に目で見て，写真やメモをとりながら歩いた。各地区会館に集合後，自主防災会会員に，避難時の基本的なフローや，備蓄している防災グッズの説明をしていただく。非常食を試食させていただいた班もあった。

〈9月 第2回防災まち歩きをする〉

- ・1回目のまち歩きでは回りきれなかったという子供たちの声があり，2回目のまち歩きを実施した。

〈9月 防災マップを作る〉

- ・17班を8チームに統合し，防災まち歩きや会館で学んだことをもとに，グループで話し合いながら防災マップを作った。各地区の地図を貼り，撮った写真や説明書きを貼るなどして完成させた。

〈9月 まちの方々に発信する〉

- ・市議会議員，自主防災会役員，保護者をお呼びして防災マップの発表会をした。災害の被害を少なくするために，自分たちができることも考え，発表した。

実際に歩いて地域を回るにより，自分たちの地域を改めて知ることができた。まち歩きの活動や防災マップ作りを通して，親も知らないことを子供が知り，発見したことを親に伝える中で，親も子も防災への意識が高まった。

□ 「米作りに挑戦しよう」【食育 5年】

〈4月 課題を設定する〉

- ・「富谷の米作り」について、地域の方に講話をいただき、興味を広げた。

〈5月 田植えをする〉

- ・地域の方に田植えの仕方を教えていただきながら、実際に田植えを行った。

〈10月 稲刈りをする〉

- ・地域の方にお世話いただきながら稲刈りを行い、農家の方々の苦労を知った。

〈11月 脱穀をする〉

- ・地域の方にお世話いただきながら脱穀を行い、収穫の喜びを実感した。

〈12月 まちの方々に米を販売する〉

- ・収穫した餅米を袋詰めし、地域の方々に販売するとともに、自分たちでも餅にして味わった。

〈1月 食文化について調べる。〉

- ・米作りの体験から生まれた、各自の食文化に対しての課題や疑問について調べ、レポート等にまとめた。

実際に米作りを体験することにより、米作りの苦労や収穫の喜びを実感することができた。また食への興味関心が高まり、自分の課題や疑問について調べたりまとめたりすることができた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（

）